

日 費 スミトップ[®]M 粉剤

SUMITOP-M

登録番号 第14610号
 種類名 MEP・チオファネートメチル粉剤
 fenitrothion・thiophanate-methyl
 殺虫剤分類 1B
 殺菌剤分類 1
 性状 類白色粉末 45 μm以下
 有効年限 4年

有効成分 MEP 3.0%、チオファネートメチル 2.0%
 毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 包装 3 kg×8袋

■特長

- 大豆の紫斑病と子実害虫のマメシンクイガ、カメムシ類、ダイズサヤタマバエ、シロイチモジマダラメイガを同時防除できる殺虫・殺菌混合粉剤です。
- 粉剤なので、水の不便な地域での使用にも適しています。



■適用病害虫名及び使用方法

(2023年10月25日現在)

作物名	適用病害虫名	使用量 (kg/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	MEPを含む 農薬の 総使用回数	チオファネート メチルを含む 農薬の総使用回数	使用方法
小麦	赤かび病 うどんこ病 ムギアカタマバエ アブラムシ類 ヒメトビウンカ	4	収穫14日 前まで	1回	1回	4回以内 〔種子への処理は 1回以内、散布 及び無人ヘリ 散布は合計3回 以内、出穂期 以降は2回以内〕	散布
麦類 (小麦を除く)						3回以内 〔種子への処理は 1回以内、出穂期 以降は1回以内〕	
だいず	紫斑病 マメシンクイガ カメムシ類 ダイズサヤタマバエ シロイチモジマダラメイガ	3～4	開花期～ 若莢期 但し 収穫21日 前まで	4回以内	4回以内	4回以内 〔種子への処理は 1回以内〕	
つつじ類	褐斑病 ツツジゲンバイ	4	-	5回以内	6回以内	5回以内	

⚠ 効果・薬害などの注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- だいずには適用病害虫の同時防除剤として使用し、開花期～若莢期に2～3回散布してください。
- あぶらな科作物には薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意  

7. 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
8. 夏期高温時の使用をさけてください。
9. 散布の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
10. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
11. かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
12. 自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意してください。
13. 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や使用に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや、立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

治療法：MEPの解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効であると報告されています。

水産動植物への影響：水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。また、空容器、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に、保管してください。

●スミトップM粉剤の上手な使い方

- ①麦類の赤かび病・うどんこ病・ムギアカタマバエ等を同時に防除できる適期は、出穂期～穂揃期なので、この時期をねらって散布してください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。